

肯定的な振り返り例

2学期中間考査について

今回のテスト勉強はよく頑張りました。ノートを何回も見直し、ワークも全て暗記して、教科書も見直しました。最初は全く意味がわからなかったり、言葉の意味すら知らなかったりとわからないことだらけでしたが、勉強していくうちに理解できてきて、面白かったです。

反省点の目立つ振り返り例

2学期中間考査について

もう少し前から勉強をしておいておけばもっと良い点が取れたと思うので次からそうしたい

- 3 無記名で全体に共有する。自分の状況とクラスの状況を知り、お互いに頑張り合うことでクラス全体でいい雰囲気を作り、次回の考査後の調査では、全体的に青色にできるように促す。

【本時と家庭学習との連動】

(本時前)

各自で振り返りはしていたが、個人の活動で終わり、次回への学習意欲アップへとつながってはいなかったように思われる。

(本時後)

クラスの状況や他人の振り返り（無記名で個人は特定できない）を共有することで、各自の振り返りがより深いものとなり、少しでも次回の考査へのモチベーションアップやクラス一帯となった取り組みができるようになってもらいたい。

実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。(肖像権の確認等は各校で行った上で提出してください。)

(別紙様式) 令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立岡山東商業高等学校		
実践者等	森 隆憲	実践日	令和4年4月1日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)	教職員の情報共有		
対象生徒(学年等)	教職員		
育成を目指す資質・能力	<input type="checkbox"/> 知識・技能 <input type="checkbox"/> 思考力・判断力・表現力等 <input type="checkbox"/> 学びに向かう力・人間性等		
分類	授業中	<input type="checkbox"/> クラウドやアプリの活用 <input type="checkbox"/> デジタルデータの保存 <input type="checkbox"/> 思考やデータの可視化	
		<input type="checkbox"/> データの共有や共同編集 <input type="checkbox"/> 対話を充実させる活用 <input type="checkbox"/> 思考を促す活用	
<input type="checkbox"/> 表現を充実させる活用 <input type="checkbox"/> 課題のやり取りと評価の支援 <input type="checkbox"/> 効率化や省力化			
<input type="checkbox"/> その他 ()			
	家庭学習	<input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> 探究 <input type="checkbox"/> 反転学習 <input type="checkbox"/> 補習・定着	

実践の内容

【教職員のための情報共有】

- 1 雑多な教職員で共有しておきたい情報を、Google サイトを利用して共有する。
- 2 共有している情報
 - ・ 本日の予定(行事、会議など)
 - ・ 職員動静(出張・休暇)
 - ・ 連絡事項(教職員向け、生徒向け)
 - ・ 健康観察
 - ・ 施設予約・機器予約
 - ・ その他(メーリングリスト・マニュアル等の閲覧)



本日の朝礼連絡

連絡対象	内 容	投稿者	朝礼連絡
*教職員	【時間割変更について】11/14(月)~11/25(金)の授業変更をまとめて行います。変更をご希望の先生は11/9(水)17時までに時間割機の「出張休暇記入簿」にご記入ください。	成本 高廣	
*教職員	【年末調整について】年末調整の書類提出がまだの先生は提出をお願いします。不明点がある場合や書類が揃っていない等の理由がある場合は事務室へご相談ください。	難波 佳代	
*教職員	【年末調整の書類記入について】 標題の件につきまして、「給与所得者の基礎控除申告書」において記入漏れが頻発しております。 提出前に今一度ご確認くださいませますようお願いいたします。	高岡 ゆかり	

職員動静



3 開発理由

- ・ さまざまな情報を一箇所にまとめることで、情報の共有化を図り、業務の省力化、ひいては教職員の働き方改革へとつなげるため。
- ・ 校内サーバー撤去にともない、今まであった教職員のグループウェアが利用できなくなった。Google ワークスペース上で作成することで、低コスト（無料）化する。
- ・ 個々で管理していたスケジュールを共有し、担当者が変更することで全員に反映することができるため、全体のスケジュール管理が行いやすくなる。

3 今後の課題

- ・ 教員がサイト設計と運営・管理をおこなっているため、転勤等により担当者がいなくなった場合、システム自体がとまってしまう。各学校個々での対応でなく、県立学校全体のフォーマットを提供していくなど、継続的に利用できる環境を整える必要があると感じている。
- ・ 今後、朝の出欠連絡等もサイトの中に入れて運用することで、さらに、業務改善・働き方改革へと繋げていけると思われる。

【本時と家庭学習との連動】

(本時前)

(本時後)

実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。(肖像権の確認等は各校で行った上で提出してください。)